

十 勝 岳

○ 11 月の火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状況です。

○ 11 月の活動概況

・ 噴煙及び熱活動（図 2～6）

62-2 火口の噴煙の高さは概ね 100m 以下で推移し、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

7 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測では、62-2 火口やその周辺の火口の状況に特段の変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、各火口やその周辺の温度分布に特段の変化はありませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・ 地震活動（図 2、図 7、表 1）

火山性地震は、一日あたり 0～1 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。求まった震源は概ねグラウンド火口周辺の浅い所に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 8～9）

GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

○ 噴火警報、噴火予報の発表状況（12 月 6 日現在）

気象庁は平成 19 年 12 月 1 日より、十勝岳について噴火警報及び噴火予報の発表を開始しました。それに伴い、12 月 1 日に以下のような噴火予報を発表しました。

なお、噴火警報、噴火予報と噴火警戒レベルについては気象庁ホームページを参照ください。

・ 活動状況及び予報警報事項：平常

火山活動は、これまでと変わらず静穏な状況で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。十勝岳の噴火予報・警報は、噴火予報（平常）です。

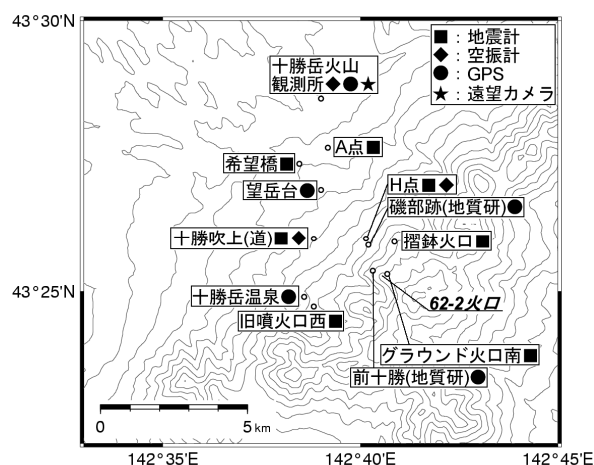


図 1 十勝岳 火山観測点配置図

※ 資料は気象庁のほか、北海道開発局、北海道、北海道立地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

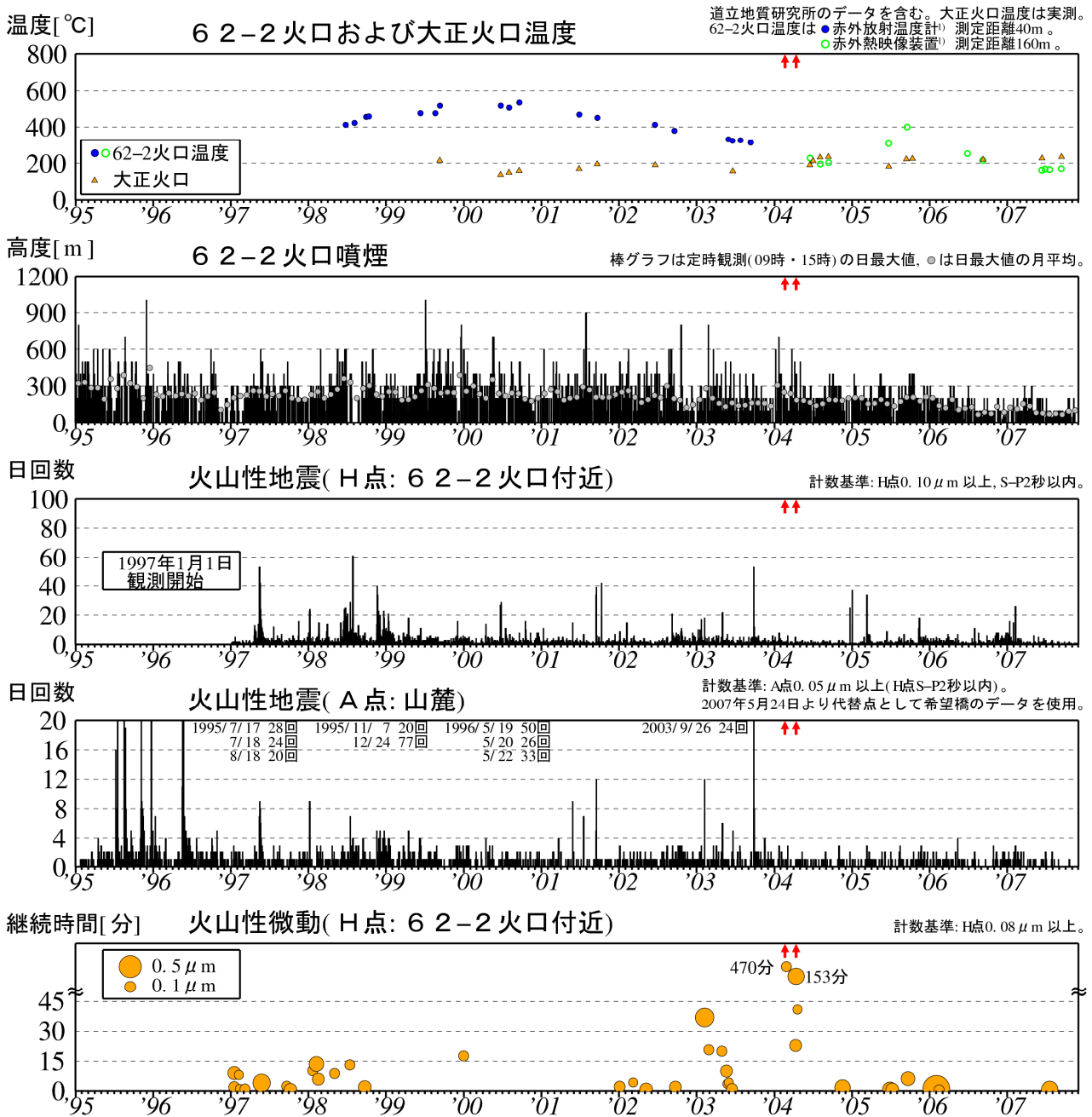


図2※ 十勝岳 最近の火山活動経過図(1995年1月~2007年11月) ↑印はごく小規模な噴火

- ・62-2 火口の噴煙活動はやや活発な状況が続いていましたが、2006年1月以降低下傾向が見られます。
- ・地震活動は1999年後半から比較的静穏に経過しています。

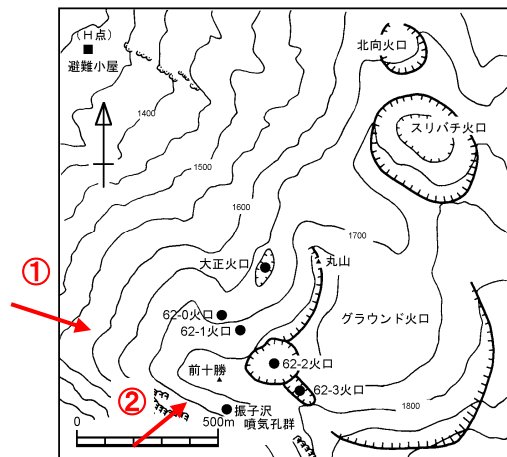


図3 十勝岳 火口周辺図

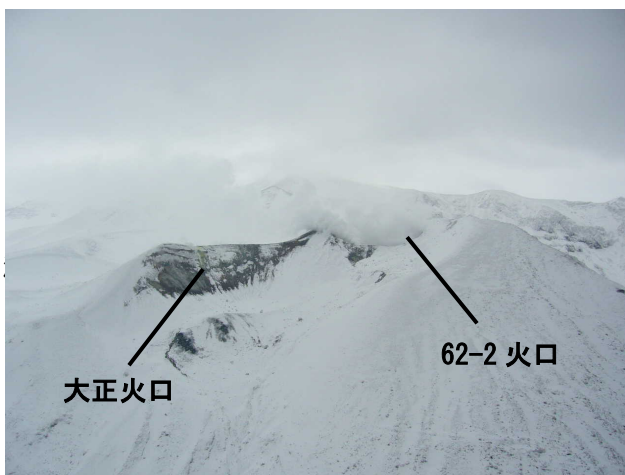


図4 十勝岳 62-2 火口周辺の状況
(2007年11月7日 図3の①方向から撮影)



図5 十勝岳 62-2 火口の状況
(2007年11月7日 図3の②方向から撮影)

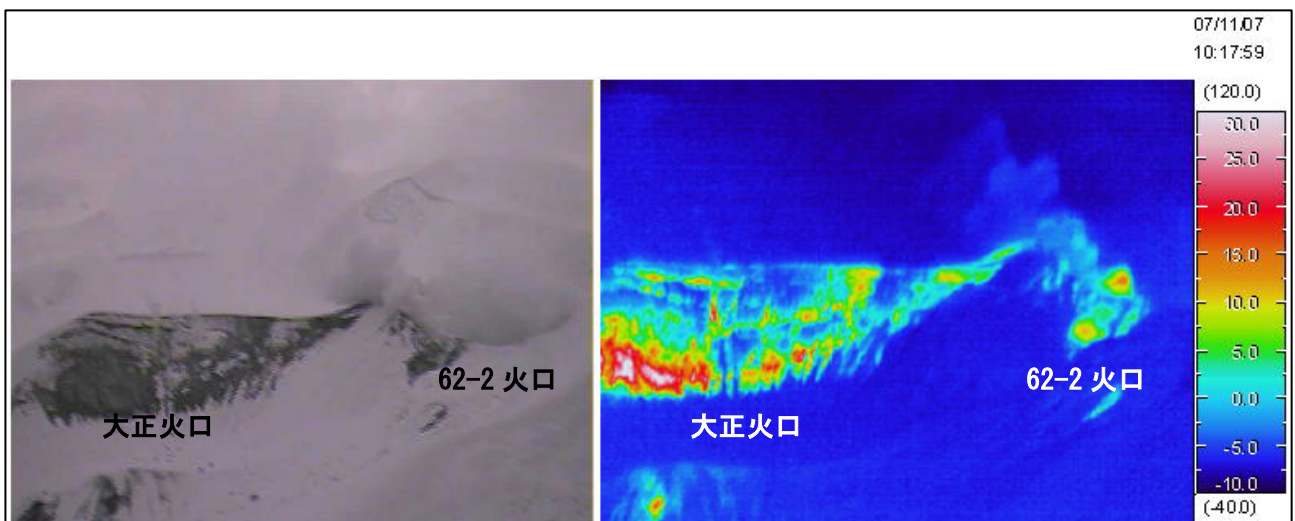


図6 十勝岳 62-2 火口周辺の地表面温度分布 (2007年11月7日 図3の①方向から撮影)

- ・ 62-2 火口内の状況は噴煙のため確認できませんでした。
- ・ 大正火口やその他の火口の状況及び地熱域の分布は前回 (2007年8月) と比較して特段の変化はありませんでした。

表 1 十勝岳 地震・微動の月回数 (H点:山頂付近〔図7の TOKH〕 A点:山麓点〔図7の TOKA〕)

2006年～2007年	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
H点地震回数	76	90	54	23	15	23	19	10	7	8	10	6
A点地震回数*	8	9	12	5	4	5	6	4	2	0	0	0
H点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

*地震観測点 A 点は近傍での工事のため 2007 年 5 月 24 日から 2007 年 11 月 9 日まで代替点として希望橋〔図 7 の KBBS〕のデータを使用しています。

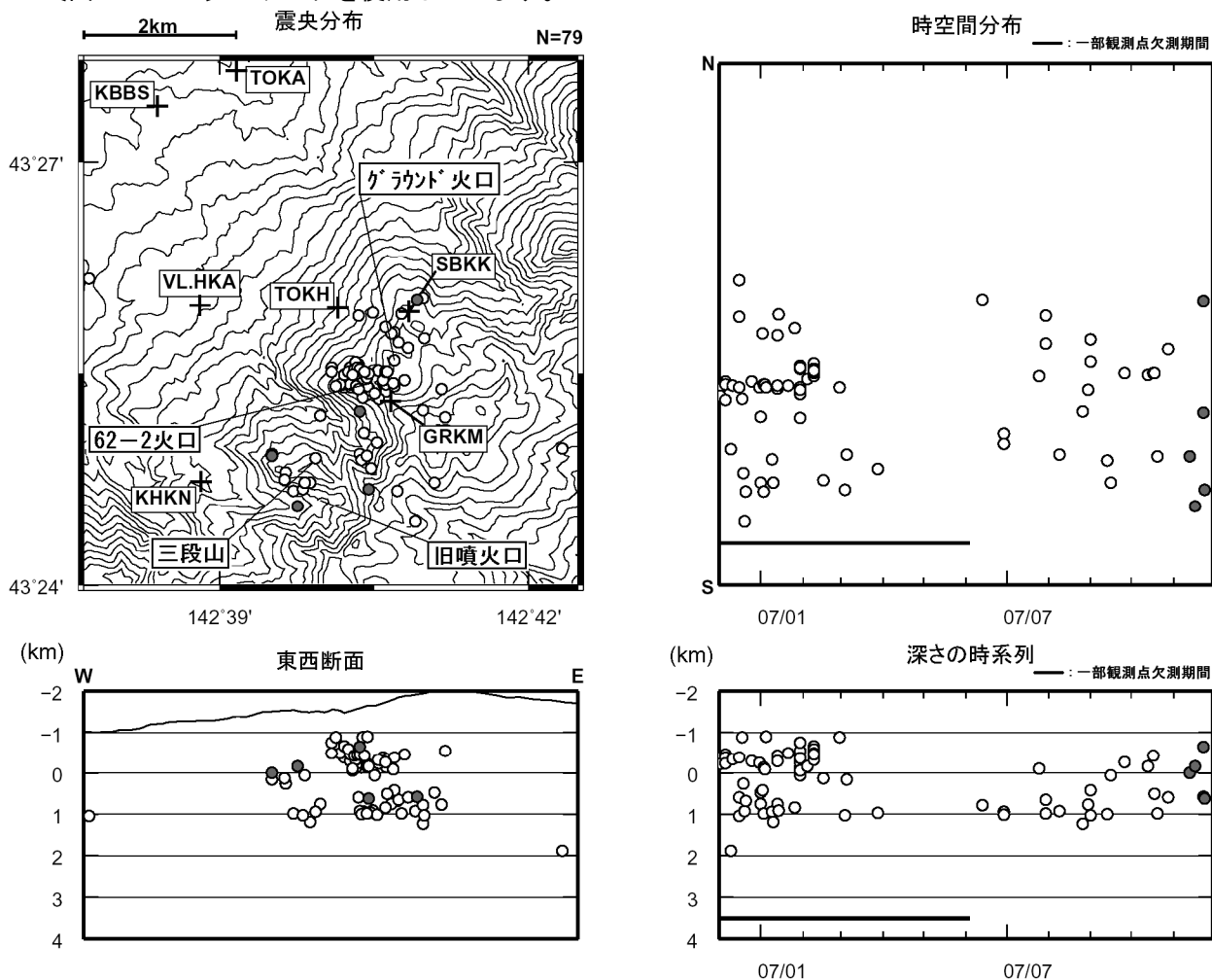


図 7※ 十勝岳 震源分布図 (2006 年 12 月～2007 年 11 月、+は地震観測点)

表示期間中、2006 年 12 月 1 日～2007 年 6 月 4 日の期間は、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

●印は今期間 (2007 年 11 月) の震源

○印は前期間までの 11 ヶ月間 (2006 年 12 月～2007 年 10 月) の震源

・前期間までの震源はグラウンド火口周辺の浅い所 (山頂から深さ 1～3 km 付近) に集中しているほか、三段山～旧噴火口周辺の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源も、概ねこの領域内に分布しています。

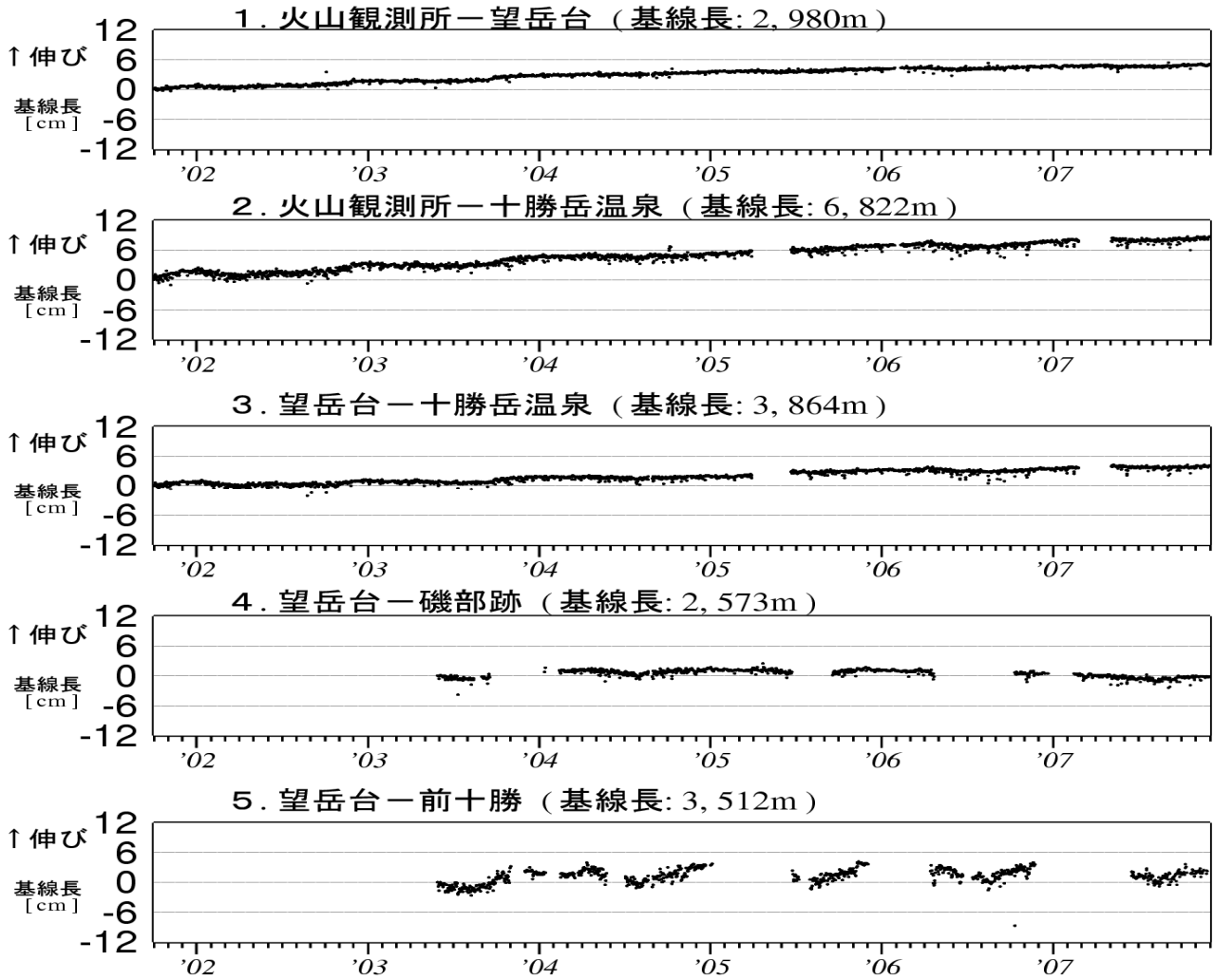


図8※ 十勝岳 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 10 月~2007 年 11 月)
 グラフの空白部分は欠測
 図8の1~5は、図9のGPS基線①~⑤に対応しています。

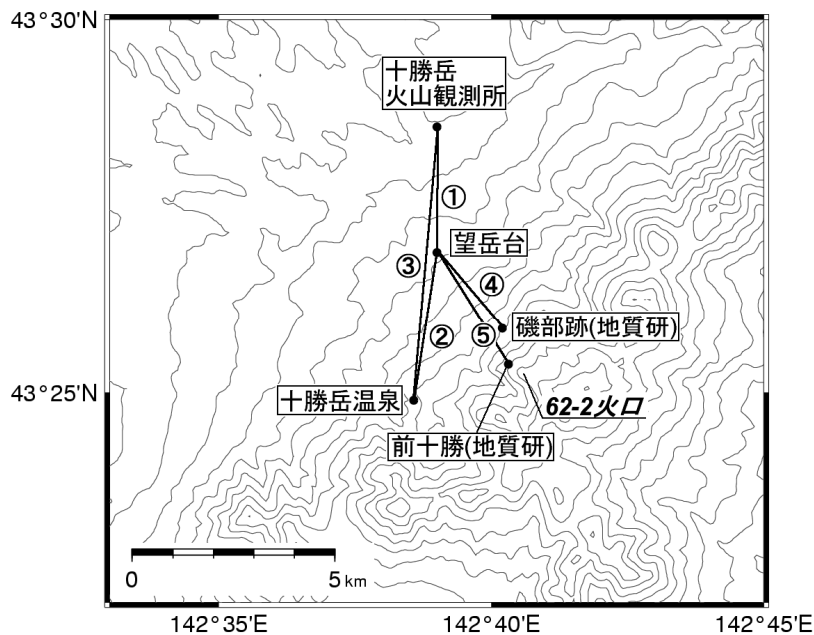


図9 十勝岳 GPS 観測点配置図